

行政視察報告

行政課題の解決に向け、他自治体などの先進的な取組や施策について調査・研究するために視察を行っています。

霧島市人口 122,736人（7月1日現在） 面積 603.17km²

議会運営委員会

議会活性化の取組について3市議会を視察しました

埼玉県ふじみ野市（7月7日） 人口 114,485人 面積 14.64km ²	千葉県我孫子市（7月8日） 人口 131,675人 面積 43.15km ²	神奈川県茅ヶ崎市（7月9日） 人口 245,083人 面積 35.70km ²
		
議会活性化の経緯	委員会のインターネット中継	委員会のインターネット中継 決算審査での事業評価の導入 意見交換会（ワールドカフェ）
議会報告会、子ども会議		
議会のICT化		

9月定例会ではこんなことが決まりました

予算常任委員会 総務環境常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会

常任委員会に付託された議案には、表の左端にそれぞれの常任委員会を示す色が付いています。

議案番号	議案の件名	議決結果	
報告5号	専決処分した事件の報告について（令和7年度霧島市一般会計補正予算（第2号）の専決処分について） 補正額 6,261万3千円 新燃岳の噴火による大量の降灰から市民生活の安全確保と環境維持を図るための経費	承認	全会一致
報告6号	専決処分した事件の報告について（令和7年度霧島市温泉供給特別会計補正予算（第1号）の専決処分について） 補正額 3,000万円 新燃岳の降灰が影響して発生した土石流により被災した温泉管の仮復旧に必要な経費	承認	全会一致
報告7号	専決処分した事件の報告について（令和7年度霧島市一般会計補正予算（第3号）の専決処分について） 補正額 2,694万円 新燃岳の噴火の影響により、宿泊客のキャンセルが発生した観光業や降灰の影響を受けるしいたけ生産者の支援に必要な経費	承認	全会一致
報告8号	専決処分した事件の報告について（令和7年度霧島市一般会計補正予算（第4号）の専決処分について） 補正額 89億1,946万6千円 令和7年8月7日から8日にかけて発生した豪雨の被災者支援および施設復旧に必要な経費	承認	全会一致
議案58号	霧島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について 関係法令の改正により、条例を改正するもの	原案可決	全会一致
議案59号	霧島市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について 関係法令の改正により、条例を改正するもの	原案可決	全会一致
議案60号	霧島市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について 佐々木小学校を令和8年3月31日限りで廃校することに伴い、条例を改正するもの	原案可決	全会一致
議案61号	霧島市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について 国分総合センターとすこやか保健センターを廃止し、総合保健センターに統合することに伴い、条例を改正するもの	原案可決	全会一致

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会

◎前田 幸一 ○宮内 博 松下 太葵 久保 史睦 徳田 修和 木野田 誠
池田 繩雄 下深迫孝二
◎委員長 ○副委員長

産業建設常任委員会では、5件の議案、1件の陳情の審査と1件の所管事務調査を実施しました。

2026年度の水道料金値上げ計画の見直しに関する陳情を賛成少数で不採択

陳情項目は11ページ参照

陳情者への質疑・答弁



下深迫 孝二 議員

Q 広大な霧島市では、水道管の敷設替えが遅れている。地震や災害等で断水等が発生し、今回の水道料金の値上げは仕方がないと思うがどうか。

A 水道料金の値上げ計画について反対しているのではなく、市民との合意形成が不十分であることで、来年から実施されることが理解しがたい。



久保 史睦 議員

Q 2026年度の水道料金の値上げには反対とのことだが、市民との合意形成ができたら2027年度からの水道料金の値上げは理解できるのか。

A 2027年度以降、市民から共感を得ることができたら、値上げはやむを得ない。

徳田 修和 議員 反対討論

耐震化の推進や管路更新は極めて重要。台明寺排水区関連事業など現在進行中の事業もあり、今後も安定的で低廉な水道水を供給し続けるためには、2026年度の水道料金の値上げはやむを得ないと考える。

宮内 博 議員 賛成討論

市民生活が厳しい状況下で、水道料金値上げが、市民との合意形成が不十分なまま進められようとしている。外部委員会との議論が十分に行われる前に値上げ計画が示されており、「値上げありき」と市民に受け取られかねない。

所管事務調査 8月豪雨被害による浸水被害箇所などを現地調査



木野田 誠 議員

Q 側溝の詰まりが原因で、溢れた雨水が道路崩壊へつながっているように感じたが、道路維持等についてどのように考えているか。

A 梅雨時期前などに市道等のパトロールを強化しているが、見落としも多々あったと思われる。今後は委託業者だけでなく、職員によるパトロールの頻度も増やしていくたい。

